



自然保護に努める高村さんに藍綬褒章

阿蘇くじゅう国立公園阿蘇地域の環境省自然公園指導員、高村貴生さん（73歳、茗ヶ原）が自然保護の功により褒章を受け、11月16日、環境省での褒章伝達式に出席、宮中豊明殿で天皇陛下に拝謁されお祝いのお言葉を受けられました。

高村さんは、県阿蘇野草園の管理を17年間つとめ、自然公園指導員ほか希少動植物の調査・パトロール、野外学習の指導、自然案内人、研修会講師など数々の自然保護活動に尽力されています。「受章は諸先輩方のご指導と活動の場を与えていただいた事など、皆さんのご協力のおかげです」と高村さん。阿蘇の自然のため日々力を注ぐ代表者の受賞です。

叙勲 消防功績で渡邊さん受章

消防団員として30年の永きにわたり、住民の財産と生命を守る消防団活動に尽力された、元一の宮町消防団団長、渡邊靖昭さん（64歳、坂梨）が、秋の叙勲で瑞宝単光章を受章されました。これに伴い、11月11日、日本消防会館で伝達式があり、その後、宮中春秋の間にて天皇陛下に拝謁されました。渡邊さんは「平成2年の7・2水害が最も印象に残る」と当時分団長として団員たちと連日救済活動につとめたことを振り返られ、「退団したが今後も地域の安全を心がけたい」と話されました。



散策スポットに丸太イス設置



新町風の会（野口千男喜会長）の皆さんが、会員が所有する山から木を運び、丸太でイスを作り、散策スポット11ヶ所に設置されました。風の会では、体験活動の受け入れや、学校への風作りの指導などに取り組みっていますが、社会奉仕もできるだけ行っていこうと今回に至ったもので、早速、木の香りがする丸太イスは利用され喜ばれています。



安全運転を心がけて！

宮地保育園の親子交通クラブ（みやじカンガルークラブ）の園児や保護者ら約40人が、11月5日、阿蘇警察署前で交通安全啓発のための街頭活動を行いました。

この日、街頭活動に参加した園児たちは、保護者と一緒に考えた交通標語を記入したカードや保育園で収穫したさつま芋をドライバー約100人に手渡し、安全運転を呼びかけました。

9月末における阿蘇市の交通事故発生件数は116件で、そのうち負傷者数は177人となっており、昨年の同期と比べると減少傾向にありますが、年末にかけて交通量の増加が予想されます。皆さん、安全運転を心がけましょう。